



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 京葉瓦斯株式会社 上場取引所 東
コード番号 9539 URL <https://www.keiyogas.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 江口 孝
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 坂本 章 TEL 047- 325- 2722
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 2026年8月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	64,446	△1.4	5,371	14.1	6,265	24.1	4,504	24.3
2025年12月期中間期	65,330	2.0	4,707	79.1	5,050	78.0	3,623	91.6

（注）包括利益 2026年12月期中間期 5,702百万円（753.4%） 2025年12月期中間期 668百万円（△90.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	140.11	—
2025年12月期中間期	112.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	182,429	109,806	58.2
2025年12月期	178,053	104,535	56.8

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 106,222百万円 2025年12月期 101,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2026年12月期	—	13.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2025年12月期中間配当の内訳 普通配当11円 記念配当2円

2025年12月期期末配当の内訳 普通配当11円 記念配当2円

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	120,000	2.0	2,900	△24.5	4,000	△13.7	3,100	△3.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	32,805,000株	2025年12月期	32,805,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	650,797株	2025年12月期	650,781株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	32,154,214株	2025年12月期中間期	32,154,237株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2026年1月1日～6月30日)の売上高は、ガス機器販売や不動産賃貸収入などが増加した一方でガス売上高が減少した結果、前年同期に比べ1.4%減少の644億円となりました。費用面では、ガス原材料費などの売上原価が減少したことなどにより、営業利益は前年同期に比べ14.1%増加の53億円となり、経常利益は24.1%増加の62億円、親会社株主に帰属する中間純利益は24.3%増加の45億円となりました。

〔収支の状況〕

(単位：百万円)

項目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減	増減率(%)
売上高	65,330	64,446	△883	△1.4
売上原価	43,218	41,819	△1,398	△3.2
供給販売費及び一般管理費	17,404	17,255	△148	△0.9
営業利益	4,707	5,371	663	14.1
経常利益	5,050	6,265	1,214	24.1
親会社株主に帰属する中間純利益	3,623	4,504	881	24.3

セグメント別の概況は次のとおりです。

【エネルギー】

売上高につきましては、ガス売上高が販売量の減少や原料費調整制度による販売価格の下方調整などにより減少した結果、前年同期に比べ3.8%減少の590億円となりました。セグメント利益につきましては、ガス販売量の減少などにより、前年同期に比べ1.1%減少の58億円となりました。

＜ガス＞

販売量は、家庭用につきましては、気温・水温が前年に比べ高めに推移した影響などにより前年同期に比べ2.9%減少しました。業務用につきましては、お客さま設備の稼働が減少したことなどにより2.3%減少しました。この結果、ガス販売量合計では、前年同期に比べ2.6%減少の369百万m³となりました。

〔ガス販売実績〕

(単位：千m³)

項目		前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減	増減率(%)
ガス販売量	家庭用	198,607	192,907	△5,699	△2.9
	商業用	55,949	54,239	△1,710	△3.1
	工業用	100,521	98,694	△1,827	△1.8
	その他用	24,557	23,912	△644	△2.6
	計	181,029	176,847	△4,181	△2.3
合計		379,636	369,754	△9,881	△2.6

(注) ガス販売量は45MJ(メガジュール)/m³で表記しております。

＜電力小売＞

販売量は、お客さま件数の増加などにより前年同期に比べ9.1%増加の323百万kWhとなりました。

〔電力小売販売実績〕

(単位：千kWh)

項目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減	増減率(%)
電力小売販売量	296,546	323,425	26,879	9.1

【ライフサービス】

売上高は、小中学校向けのガス空調機器販売が増加したことなどにより前年同期に比べ38.1%増加の43億円となり、セグメント利益は125.2%増加の6億円となりました。

【リアルエステート】

売上高は、リーフシティ市川(※)等における不動産賃貸収入が増加したことなどにより前年同期に比べ24.4%増加の12億円となり、セグメント利益は80.7%増加の6億円となりました。

(※) 当社市川工場跡地開発事業におけるエリア愛称

(単位：百万円)

項目	エネルギー	ライフサービス	リアルエステート	調整額	連結
売上高	△3.8% 59,009	38.1% 4,305	24.4% 1,265	△133	△1.4% 64,446
営業費用	△4.1% 53,207	29.5% 3,675	△4.2% 646	1,546	△2.6% 59,075
営業利益 (セグメント利益)	△1.1% 5,802	125.2% 629	80.7% 618	△1,679	14.1% 5,371

(注) 上段は対前年同期増減率

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ43億円増加の1,824億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ52億円増加の1,098億円となりました。

なお、自己資本比率は58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績動向等を踏まえ、通期の業績予想を次の通りといたします。

売上高および営業利益については、ガス販売量の減少を見込む一方、2026年9月に実施予定のガス料金引き上げの影響等も踏まえ、2026年4月28日に公表した前回発表予想を据え置きます。経常利益については、営業外収支の改善が見込まれることから前回発表予想に対し4億円増加の40億円、親会社株主に帰属する当期純利益については2億円増加の31億円にそれぞれ修正いたします。

通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	120,000	2,900	3,600	2,900	90.19
今回修正予想	120,000	2,900	4,000	3,100	96.41
増減額	—	—	400	200	—
増減率(%)	—	—	11.1	6.9	—
前期実績	117,665	3,839	4,635	3,210	99.85

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	1,441	1,302
供給設備	49,833	49,818
業務設備	13,663	13,559
その他の設備	19,205	19,977
建設仮勘定	3,120	1,583
有形固定資産合計	87,264	86,242
無形固定資産		
その他無形固定資産	5,079	5,345
無形固定資産合計	5,079	5,345
投資その他の資産		
投資有価証券	34,199	38,661
退職給付に係る資産	3,539	3,636
その他投資	10,083	9,605
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	47,821	51,902
固定資産合計	140,164	143,490
流動資産		
現金及び預金	22,033	25,870
受取手形、売掛金及び契約資産	12,318	9,492
商品及び製品	60	72
仕掛品	1,592	1,266
原材料及び貯蔵品	692	734
その他流動資産	1,234	1,539
貸倒引当金	△44	△36
流動資産合計	37,888	38,939
資産合計	178,053	182,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
固定負債		
社債	670	637
長期借入金	27,225	27,823
繰延税金負債	4,222	4,879
役員退職慰労引当金	68	75
ガスホルダー修繕引当金	457	492
器具保証引当金	352	288
退職給付に係る負債	345	357
長期前受金	13,911	13,816
その他固定負債	1,232	1,230
固定負債合計	48,484	49,601
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	3,585	3,594
支払手形及び買掛金	7,792	5,461
未払法人税等	508	1,675
ポイント引当金	14	9
その他流動負債	13,132	12,281
流動負債合計	25,033	23,022
負債合計	73,517	72,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	36	36
利益剰余金	82,064	86,144
自己株式	△272	△272
株主資本合計	84,582	88,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,265	14,896
為替換算調整勘定	25	88
退職給付に係る調整累計額	3,222	2,574
その他の包括利益累計額合計	16,514	17,559
非支配株主持分	3,438	3,583
純資産合計	104,535	109,806
負債純資産合計	178,053	182,429

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	65,330	64,446
売上原価	43,218	41,819
売上総利益	22,112	22,627
供給販売費及び一般管理費	17,404	17,255
営業利益	4,707	5,371
営業外収益		
受取利息	141	185
受取配当金	230	251
持分法による投資利益	112	113
投資事業組合運用益	—	428
雑収入	174	160
営業外収益合計	658	1,140
営業外費用		
支払利息	142	231
投資事業組合運用損	147	—
雑支出	25	15
営業外費用合計	316	247
経常利益	5,050	6,265
特別利益		
投資有価証券売却益	—	184
特別利益合計	—	184
税金等調整前中間純利益	5,050	6,449
法人税等	1,269	1,803
中間純利益	3,780	4,645
非支配株主に帰属する中間純利益	157	140
親会社株主に帰属する中間純利益	3,623	4,504

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	3,780	4,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,769	1,616
為替換算調整勘定	—	63
退職給付に係る調整額	△366	△648
持分法適用会社に対する持分相当額	23	25
その他の包括利益合計	△3,112	1,057
中間包括利益	668	5,702
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	514	5,550
非支配株主に係る中間包括利益	154	152

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ サービス	リアル エステート			
売上高						
外部顧客への売上高	61,327	3,118	883	65,330	—	65,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	133	133	△133	—
計	61,327	3,118	1,017	65,463	△133	65,330
セグメント利益	5,864	279	342	6,486	△1,778	4,707

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,778百万円には、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,792百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ サービス	リアル エステート			
売上高						
外部顧客への売上高	59,009	4,305	1,132	64,446	—	64,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	133	133	△133	—
計	59,009	4,305	1,265	64,580	△133	64,446
セグメント利益	5,802	629	618	7,050	△1,679	5,371

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,679百万円には、セグメント間取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,691百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。